

平成15年度 ごみの組成調査を実施しました。

ごみ収集作業等の基礎資料とするため、家庭ごみに含まれる資源の割合、分別の状況を調査しました。



【調査時期】

平成15年10月6日(月)から平成15年10月11日(土)の6日間

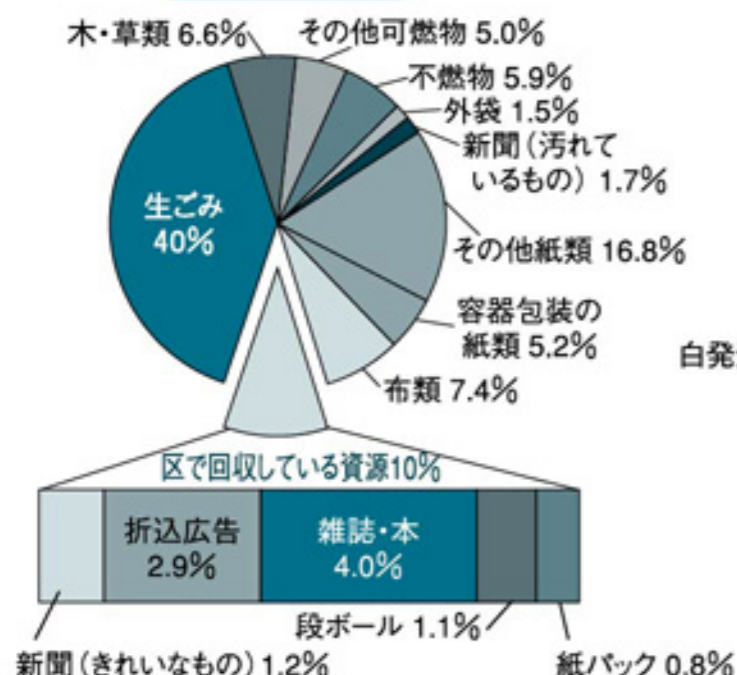
【サンプル数】

可燃ごみ	不燃ごみ
800袋(1,217.8kg)	400袋(212.9kg)

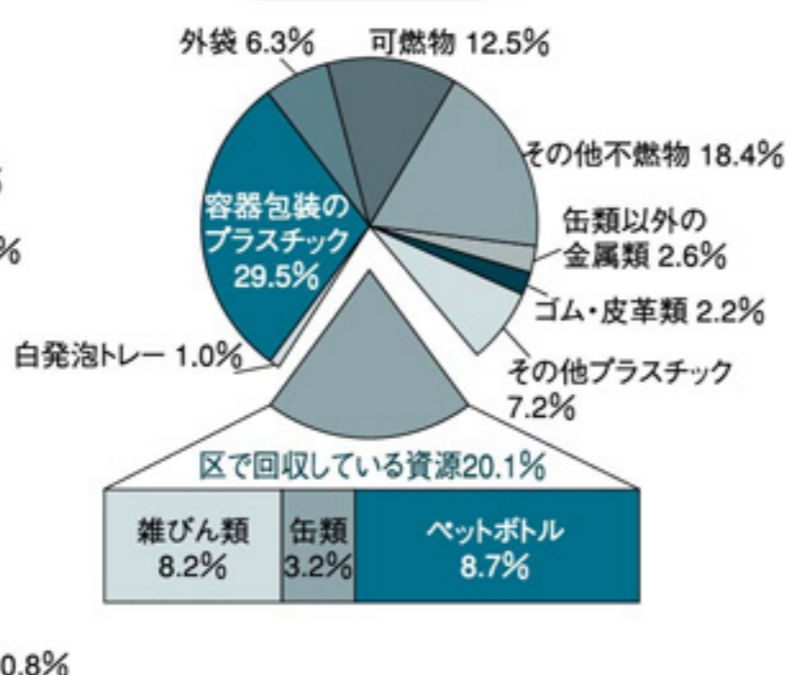
【調査方法】

サンプルとして収集したごみを区分ごとに分類して、それぞれの量(重さの割合)を調べました。

可燃ごみ(家庭)



不燃ごみ(家庭)



●今回の調査でも多くの再利用できる資源がありました。ごみと資源を分けて、ごみの減量・資源のリサイクルを進めましょう。

つぎのものは、集積所の資源回収で回収します。可燃ごみ、不燃ごみには出さないでください。



※ペットボトルは、スーパー、酒店、コンビニなどの店頭回収協力店へお出ください。区が回収しリサイクルしています。



家庭から出る資源は、まず町会・自治会や子ども会、PTAなどの集団回収へお出ください。また、スーパー等の店頭回収やチリ紙交換、新聞販売店の回収などが利用できる方は、なるべくそちらへお出ください。ごみ集積所の資源回収は、他の回収に出せない場合にご利用ください。



編集・発行/江戸川区 環境防災部 清掃・リサイクル課
〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1

☎ 03(5662)1689(直通)
FAX 03(5678)6741

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kankyo/kankyoindex.html>

第8号

Vol.8 平成16年1月 発行

我が家のごみの減量大作戦

区民のみなさんのリサイクルの様子とごみ減量の工夫をご紹介します。

古くなった衣類を再利用しています。

古くなった衣類を利用してパッチワークでいろいろなものを作ります。写真のマットは、Tシャツを毛糸のように細長く切ってかぎ針で編んだものです。育児の合い間に少しずつ編んでも一週間くらいでできてしまいました。特にリサイクルを意識しているという訳ではありませんが、着られなくなった衣類など、そのままごみとして処分するにはもったいないという気持ちがあり、再利用できるものは作り直しています。

(中葛西在住 諸岡さん)



リサイクルが生活の一部になっているのですね。

食材をムダにしない工夫をしています。

我が家の食事は食べきれない分を作っているため食べ残しが出ません。冷蔵庫に残っているもので料理をして、食材を使いきるような努力もしています。食材は使う分だけ買える量り売りのものを選ぶようにしています。買ったものをビニール袋に小分けにして、わかりやすく冷蔵庫の中に入れておけば、使いやすく、そのまま残ってしまうこともありません。ごみの減量は、まず一人一人が意識をもつことが大切だと思っています。

(春江町在住 倉林さん)



食べ残しや使い切れない食材もごみになってしまいます。家庭の可燃ごみの4割が生ごみです。少しの工夫が大きなごみの減量につながります。

お願い

びんを資源回収に出すときは、必ずキャップをはずしてください。はずしたキャップは不燃ごみへ。

みなさんもできることから始めましょう

昨年6月に実施したごみ減量アイデア募集に
たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

- 食品の保存は、ラップやビニール袋は使用せずに冷凍・レンジ解凍できる保存容器を活用します。
- 冷蔵庫や冷凍庫の扉に、中身を書いたマグネットやメモを貼って、無駄な買い物を防ぎます。扉を開ける回数も減り、電気代節約にもなります。
- 自分のはしを用意して、割りばしはもらわないようにします。
- 野菜の皮は処分せずに調理します。大根・人参などの皮は冷凍して取って置き、たまったくず野菜たっぷりのクリームシチューにしたり、じゃがいもの皮は揚げておやつやおつまみにします。
- 大根の皮はむいたら千切りにして2、3日ベランダに干して、切干大根として保存します。
- 雑誌や本はなるべく買わずに図書館を利用します。
- 外出するときは水筒を持っていき、ペットボトルと缶は買わないようにします。
- おなかが空いていないときに買い物に行くようにします。



江戸川区

区のホームページに掲載中
<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kankyo/anataga.pdf>

- マイバッグを持参します。
- パンを買うとき、一つ一つビニールに入れてもらうのはごみになるので、大きめの弁当箱を持参します。
- 切れたストッキングの足先に小さくなった石鹸を集めて入れ、つかみ洗いに使います。
- 使えなくなったビデオテープを編んでタワシがわりにして、台所のステンレス壁の清掃に使います。
- 包装紙は食器棚に敷いたり、子どもの落書き用紙にします。
- クリーニング屋さんからもらうビニール袋などは、セーターや洋服の保管に使います。
- 資源として出すのに手間のかかる物は「お手伝いポイントカード」を作り子どもに手伝ってもらっています。

集団回収でリサイクル

回収量
1kgにつき
6円の報奨金

回収補助用具や
消耗品の支給



集団回収とは、町会・自治会・子ども会・くすのきクラブ・PTAなどの地域住民団体が家庭の資源を自主的に回収し、契約業者に引渡すリサイクル方法です。

区内の約500の団体が、古紙やアルミ缶などを回収しています。14年度は15,354トンの資源が地域のみなさんの手でリサイクルされました。

区では、良質な資源が効率よく集まり、区民のリサイクル意識の向上にも役立つ集団回収を「リサイクル推進の第一の柱」と位置づけ、積極的に支援しています。

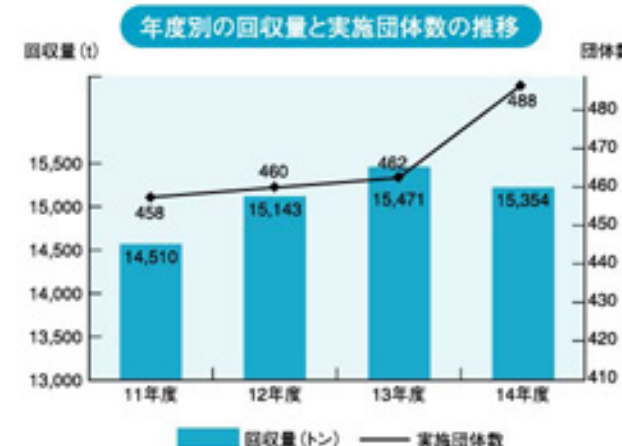


集団回収の手引き

区のホームページに掲載中

- 集団回収とは？
- 集団回収を始めるには
- こんな時、どうするの？
- 上手に集団回収

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kankyo/syudankaisyuu.pdf>



ごみ減量・リサイクル出前講座

ごみ減量・リサイクルについて、区の職員がみなさんの所までお伺いして説明します。ご希望の方は、町会・自治会・各種グループ単位でお申し込みください。

- 実施例
- ① 区の清掃事業とリサイクル
 - ② ごみの減量、できることから始めよう
 - ③ 家庭でできる生ごみリサイクル
 - ④ 資源の正しい分け方・出し方など
 - ⑤ 集団回収を始めませんか



みなさんも、生ごみリサイクルを始めませんか

小冊子「生ごみリサイクルを始めよう」で5つの方式の上手なやり方を紹介しています。

この冊子の内容は、江戸川区のホームページに掲載しています。
<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kankyo/monitor.html>

ご家庭から出る資源は集団回収に出しましょう。

新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶などの資源は、できるだけ地域の集団回収にお出してください。みなさんが集団回収に出すことが資源の抜き取り防止にも有効です。

資源の抜き取りに区でもパトロールをしています。

区が行う資源回収で、集積所に出された資源を区が回収する前に持ち去る行為が横行しています。自分たちの都合が良いときだけ持ち去るのでは、リサイクルは進みません。資源は価格の変動にかかわらず、リサイクルされることが大切です。区では抜き取り防止のため、集積所に注意の貼紙を掲示し、パトロールを実施しています。

